

はたっこ

2学期も、東畑中学校区の子童生徒は多くの経験を積み、また地域の方の支えもあって心身ともに大きく成長することができました。

2学期の主な取組を紹介します。

小中合同研修会

10月1日：原小学校5年生「総合的な学習の時間」

米づくりの体験や自分たちが調べた歴史や文化などの情報から伝えたいことを選び、それがより伝わるようにするにはどうしたらよいかを、児童同士でアドバイスをし合ったり、グループで話し合ったりしながらまとめていきました。

コロナ禍の中の授業ということで、意見交流したり、自分たちの考えをまとめたりする際には、タブレットを活用しました。

授業後、研究協議会を3校の教職員がオンラインで行いました。また、安田女子大学朝倉淳教授に講演していただきました。



原小学校5年生の授業



安田女子大学 朝倉 淳教授による講話

11月2日：東畑中学校2年生「社会科」

「持続可能な地域社会を創るために、どのような町おこしができるか」を課題に、今まで学習したことをもとに考えました。産業や観光、人口問題などの視点から呉市の発展のためにはどうしたらよいか、生徒が意見を出し合いました。

授業研究協議会では、3校の教職員が集まり、意見交流しました。また、呉市教育委員会 宮田剛指導主事に指導・講話をしていただきました。



東畑中学校2年生の授業



3校の教職員による研究協議

あいさつ運動

「はたっこLife・Smile 好きの週間に伴うあいさつ運動」

毎日気持ちよく生活したり学習に集中したりするために、①夜は決められた時刻までに寝ること、②朝は7時まで起きること、③朝ご飯をしっかり食べる、④自分で決めたメディアの約束を守ることを習慣付けていこうと、中学校の保健委員会、小学校の健康保健委員会が、登校時にみんなに呼びかけました。



11月11日 原小学校



11月12日 明立小学校

また、いじめ撲滅を目指し、中学校の生徒会と小学校代表児童（企画委員会・児童委員会）も参加しました。

みんなで仲良く気持ちのよい学校生活をつかっていこうと、あいさつを通して呼びかけました。

東畑中学校 藤原校長による 小学校への乗り入れ授業

東畑中学校校長による、明立小学校、原小学校への道徳科の乗り入れ授業を行いました。

「『ここにいることは、とってもすごい!』とは」というテーマをもとに、話を聞き、考え、意見を交流しました。生命や人類が誕生した偶然を知り、今自分がここにいることや、友達と出会えていることが奇跡ですごいことなんだと実感し、感動していました。



原小学校



明立小学校

～児童の感想より～

たくさんの偶然があって、地球がある。人間に生まれたこともすごい。広島に生まれたこともすごいし、今の友達に出会えたこともすごいと思う。たくさんの偶然が重なって今ここにいると思いました。

いくつかの偶然がたくさん重なって、みんなが幸せをもって生まれてきた。奇跡だと思いました。日本という国に生まれてこられたことも、小学校に入学して大好きな友達ができただけでも、全部奇跡で、ステキなことだと思いました。

ここにいるのは本当にすごいと思いました。これからは、自分がここにいてすごいということを出して、自分を好きになりたいです。もっと自信をもちたいです。中学校に行くのが楽しみになりました。

友達の意見を聞き、自分の考えを広げることができました。一日一日を大切に今を過ごしていきたいです。

10月26日（火）原小学校、28日（木）明立小学校で行う予定にしておりました中学生による陸上教室、および、11月25日（木）に予定しておりましたクリーン活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。